

# 林里地区振興計画

(平成 22 年度～平成 26 年度)

『地域づくりは人づくり』

林里地区にみんなで

絵を描いてみませんか

豊丘村林区林里地区

平成 22 年 1 月 24 日

## 基本構想

### ① 自らつくる地域づくり構想の目的

温暖な気候と南アルプスと中央アルプスに囲まれたすばらしい環境、長い年月をかけて天竜川の浸食により形成された河岸段丘、地域住民の愛着の強い虻川。最高の財産である自然環境は道路整備や河川清掃等地域の共同作業により守られてきました。今後更に進む少子高齢化に適応した持続可能な地域をつくるため、林里地区を構成する住民の知恵と力を結集し、地域の創意と工夫により個性ある地域づくりを協働の力で図り、地域の活性化を推進して誇りの持てる住みよい地域にすることを目的とします。

### ② 基本計画

「地域づくりは人づくり」

すべての住民が住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らせる、支え合い、助け合いの心の通う地域づくりをめざします。

#### 世帯数人口の推移

	林里地区		豊丘村	
	世帯数	人 口	世帯数	人 口
平成 6 年 4 月 1 日	109	422	1,829	7,313
平成 11 年 4 月 1 日	117	418	1,919	7,404
平成 16 年 4 月 1 日	114	405	1,993	7,261
平成 21 年 4 月 1 日	130	428	2,024	7,083

豊丘村の人口は、年々減少傾向にあります。当地区は、保育所や小中学校が所在し、村内の主要道 県道伊那生田飯田線、竜東一貫道路、に接し交通の利便性も良く、更に新住宅団地等の開発も行われているため、今後も増加が見込まれています。

受け継いできた地域のコミュニティを守りつつ、新たに地域の仲間になれる皆さんと異世代交流を図りながら、地域に関わるあらゆる主体との協働による、地域づくりへ向けた継続的な活動の推進を図ります。

地域住民は地域づくりの主體的な担い手です。自分達が解決できる地域の課題に自ら関わって、自ら学び、自ら解決するという意識を持ち、地域づくりに積極的に参加し、自らを成長させ、さらにまたそれを地域づくりに還元していきます。

## I. 地域の特徴を活かした産業振興、地域おこし等活性化に向けて

緑豊かな自然環境は、先人たちに守られてきましたが、農業従事者の高齢化や後継者不足により農地や農業用水等の資源の保全管理が困難になってきています。里山の生活利用が減り、人々の手が加わることによって維持されてきた環境が放置され、今までの農村風景を維持出来なくなる事態を招いています。また、地域の子どもたちが自然の中で遊ぶ機会も減り、身近な生活体験が不足したまま育つことによる弊害など新しい問題が生まれています。

私達が希望する集落は、とうとうと清らかな水が流れ、春は緑におおわれ、秋は黄金色の稲穂がたれる田園風景。そのなかを、子供たちの声がこだまして、人々のあいさつが聞こえる地域です。

農地と井水は農産物を生産するだけでなく景観等多目的効果があります。林里地区を縦断する井水は私達の財産です。今後も田園風景を維持しつつ緩やかな開発をしていきます。

すべての人々に安らぎと心の豊かさをもたらす自然の恵みをみんなで守り、五感を体験できる地域づくりに活かして参ります。自然体験などを通じて子どもが地域の住民と関わりあいながら心豊に育つ地域社会を目指します。

- ・ 担い手育成に努め、温暖な気候を活かした農地の有効利用、産業振興に努めます。
- ・ 井水施設の改修保全と地域住民による水路の維持管理。
- ・ 遊休農地活用の家庭菜園の推進、地産地消に努めます。
- ・ 林公園（柿っこ公園）等 里山環境整備。
- ・ 子どもの農業体験、水田・小川での生き物調べ。

## II. 生活道路・防災・情報・消防団等 住環境整備に向けて

### ○会所周辺整備

会所は、地域におけるコミュニティ活動の拠点施設であるが、地域防災拠点施設としての機能も備え、非常時にも利用可能な施設が望まれます。また今後の住宅開発を考えると会所に集まるには駐車場がいます。薬師堂見学者の駐車場の確保とともに検討が必要です。

### ○生活道路

当村は、公共交通機関が十分に確立されていない地域であるため、道路の整備は地域の暮らしの質に直結する重要な要因となっています。林区の基幹道路である佐原線は林原地区、佐原地区と当地区を結ぶ幹線道路となっているため維持管理の継続はかせません。また、当地区内における生活道の幅員は狭く、車両の行き違いに困難も生じています。東に向かって傾斜が続いている地域であるため、県道伊那生田飯田線との交差も傾斜で、危険箇所の一つとなっています。地域の住民が充実した暮らしを続けていくためには基盤整備が望まれます。

- ・ 県道と神社線交差にある電柱が安全確認の際非常に障害になっている。移動をお願いしたい。
- ・ 林の杜から佐原線出口は危険な箇所である。標識もいいが、路面への表示等安全対策をお願いしたい。
- ・ 県道伊那生田飯田線との平面交差の長さを確保するための改修。
- ・ 石垣の崩落箇所・横断工・歩道の拡幅・側溝段差の修理。
- ・ 天竜川架橋にからめ、高森町から松川インターへのアクセスを考えると県道の改良を大至急行い、竜東一貫道路と交換を。
- ・ 佐原線 カーブが多いので危険である。直線化を望む。歩道設置。
- ・ 今後林の杜周辺の住宅開発が進んだ場合を想定し、住宅排水対策のため佐原線U字溝を広くしてもらいたい。
- ・ 県道伊那生田飯田線から佐原線までの北垣外北村林2号線の拡幅。
- ・ 熊の坂線、薬師線の入り口には横断歩道が必要。
- ・ 熊の坂線は待避所の設置が必要 日当たりを良く。
- ・ 林公園の雨水の処理・熊の坂線の整備。
- ・ 中学登校線（中学校上）の整備と側溝の整備。
- ・ 地藏道田村林線（エルニーニョ前）の改良工事。
- ・ 井水砂防工事を 崩落防止の検討を。
- ・ 指定された急傾斜地工事は終了したが、まだ危険箇所があるため、指定を受け工事の実施を望む。
- ・ 林堤防の完成堤防早期実現。

## ○消防防災

火災を初め各種災害に関する知識を有する消防団員は、その指導者としてふさわしいことから、地域の防災リーダーとしての役割が期待されています。少子化、地域における若年層の減少等に伴い団員確保が難しくなっているため、消防団員数の確保は喫緊の課題となっています。消防団活動に興味を持って入団し、団員の意欲、仕事等の都合等を配慮し、可能な範囲で活動に参加できる制度を検討し、多くの住民が消防団に参加できる環境を整備することが必要です。また、消防団OBや女性消防団員等住民のさらに幅広い層から消防団活動に参加する人を確保することも検討が必要です。

災害時の応急対策については、初期避難時の誘導は常会長が避難誘導を行うことになっているため、毎年組織内の体制を整備し災害時の情報の収集・伝達体制の強化や非難誘導などの情報伝達システムを充実すると共に、平時においても関係機関との連携を密にし、迅速に対応できるよう地域における危機管理体制の充実に努めます。

- ・ 林里地区防災会議を開催して非常時・防災訓練等に役立てます。
- ・ 自主防災マニュアルの作成。
- ・ 避難場所の確認。

- ・ 連絡先の確認。
- ・ 要援護者の実態把握と対策。

災害時の炊き出しについては、委員長の指示により日赤奉仕団が出勤することになっていますが、新規団員の確保が厳しい状況になっています。緊急時や災害時における炊き出しの取組は、地域住民による支えあいが重要であり、「自分たちの地域は自分で守る」という住民意識の向上を図り、1戸1名の応援体制を目指します。

### Ⅲ. 地域の伝統文化・生活環境を活かした地域づくりに向けて

#### 「地域づくり」

自治組織は、住民の一番身近な生活・交流の場であり、その活動が地域福祉活動そのものと考えられるため、役員はもちろん、地域の民生委員、ボランティアなど関係者が広く参画し、対等な関係性のもと、協働していける福祉ネットワークづくりが重要であると考えます。

また、豊かな自然や文化を活かし、公民館活動を中心として子どもと地域の高齢者との交流など世代間交流を図るとともに、地域内交流を促進し、子育てを地域で見守り、助けあうことのできる地域づくりを進めます。我が家の周りからきれいにする環境ボランティア運動も推進していきます。

#### 「伝統文化」

物質的な豊かさを背景に、精神的なゆとりと潤いをもたらす文化への志向が高まっています。当地区には村指定文化財も含め、様々な文化財が存在しているため、今後においても維持管理に努めて参ります。文化志向への機運と先人から受け継いだ伝統文化や郷土の歴史・文化に対する理解や愛着を深め、伝統文化を大切に守り育て、未来に引き継いでいくことが大切です。春の祭りは、獅子屋台の練り歩き・薬師堂においてご婦人の数珠廻し、文化財の清掃活動が行われています。

林公園は景観も良く安らぎのある空間です。これからもボランティアの皆さんに応援して頂きながら憩いの場にします。

#### 《貴重な文化財》

林熊野神社	林薬師堂	林薬師如来	薬師堂の連歌の大額
稲荷神社	百体庚申	芭蕉句碑	

#### ○林熊野神社

先人から守り伝えられている祭典の継承活動により、元気な地域づくりを目指します。

- ・ 祭典。
- ・ 獅子屋台での練り歩き。

- ・ 小学生による熊野神社の清掃活動の継続。
- ・ コミュニティ助成事業による車獅子屋台工事 篠笛（7穴6本調子）10本、附締太鼓2基購入。
- ・ 御神木の根が拝殿を持ち上げているための対策。
- ・ 社務所の床の補修。（畳下板の腐食）
- ・ お宮トイレの改修。
- ・ 獅子屋台格納庫の改修。（柱の傾き・トタン屋根の腐食）
- ・ お祭り用の服装整備。（120組）

## ○林薬師堂

当地区にある薬師堂の本尊林薬師如来は、村指定（1982）文化財です。顔型がたいへん古い薬師如来です。藤原時代中期、郡下でもっとも古い仏像の一つとされています。老朽化した御堂は平成21年度改築工事が竣工しました。

また、学芸員織田顕行先生から2012年ころ林薬師如来の修復の提案があります。参道の修復も含め実現が望まれます。

- ・ 春の祭典。
- ・ ご婦人の皆様による数珠廻し。

## ○ 稻荷神社

- ・ 春の祭典。
- ・ 社殿老朽化に伴う改修。
- ・ 神社前の鳥居老朽化に伴う改修。
- ・ 参道鳥居老朽化に伴う改修。

## ○ 百体庚申

旧龍東線の道沿いにあった庚申様を林横手にまつることになった、百の庚申様。文政11年3月（1828）大原信富が建立したものです。

現在、百体庚申は、倒壊等危険な状態であり、通学道路に接しており行政も一緒になって修復に取り組む。

- ・ 春の祭典。

## ○ 林公園

みなさんの憩いの場としてお楽しみください。

- ・ 青壮年による公園整備。
- ・ 公園の周りの里山整備。
- ・ 遊具の整備。